

<保育目標> ●神様の恵みを感じる ●自分も人も大切にす ●人のために尽くす ●人々と共に生きる

<目指す子ども像>・遊びを通して自然と関わることができる。・自分の気持ちを言葉で表現すると同時に、相手の気持ちを聞くことができる。・困っている友達を率先して助ける思いやりがある。・喜んでお手伝いできる。・元気に挨拶ができる。

<園の強み>
・幼稚園としての伝統的な教育内容がある程度保たれつつも、こども主体の保育に向けて教員が創意工夫をしている。
・広い敷地を利用して植樹をしたり畑を作ったりと豊かな四季の自然に触れられる環境があり、思い切り体を動かして遊べる園庭が確保されている。
・若年層の教員に責任がシフトしており、新しいアイデアで保育が展開しやすくなっている。

<園の弱み>
・若年層とベテランの間の保育観に微妙なずれがあり、学年間の縦のつながりももちにくく、子ども主体の保育を具体的に進めていく際に困難がある。
・園庭の環境を使って子どもの発想をもとに遊びを進めるには教員の人員不足があり、安全面を考えると発展させる事が難しい。

A<改善>

<園の強み>
・ベテランと新任がバランスよく存在しているので落ち着いた保育が展開できている。
・乳児棟は教員も少なく少人数制の保育であるため、教員間の連絡も密に取れており、家庭的な雰囲気の中で個々の園児に即した保育ができています。また、保育環境の創意工夫も教員が一丸となって努力している。
・四季折々の草花や果樹、野菜などが身近に触れられる環境があり、それらを用いた遊びが期待できる。

<園の弱み>
・長年同じ形式で行ってきた保育を変えていくには教員全員の柔軟な思考、創意工夫や学習意欲が必要だが、一人一人への子どもたちへの援助が以前より多く必要になってきたことと人材不足が重なり、十分討議する時間がない。改革していくには更なる教員の研修機会、人材が必要である。
・園庭は広いものの平坦で築山のような遊び要素のある環境が少ない。このため、遊びやすい園庭の環境整備が課題。

Table with 2 columns: <重点努力目標> (P) and <内容>. It lists three main goals for improving the indoor environment and outdoor activities.

C 総合評価
・教員同士の話し合いをできるだけとり、保育の方向を具体的に定めようと努力してきた。ただ、研修に十分な時間が割けなかったり、新しい発想を具体的に展開していくのが苦手な教員と得意な教員との間で実践に差が出てきている点を埋めていく必要がある。
・今年度も改めて行事の見直しを教員間で話し合い、子どもたちが生き生きと作り出せるものと考えてきた。結果的に去年やり方を徹底的に変えた運動会なども保護者の意見や子どもの様子などを見て元のやり方に戻した学年もあり、まだ価値観が定まらない様子である。

Table for 1期 (Period 1) with columns for D 実施 (Implementation) and C 評価 (Evaluation). It details the implementation of safety measures and the resulting improvements in the environment.

Table for 2期 (Period 2) with columns for A 改善 & P 計画 (Improvement & Plan), D 実施 (Implementation), and C 評価 (Evaluation). It describes the revision of sports events and the use of seasonal materials.

Table for 3期 (Period 3) with columns for A 改善 & P 計画 (Improvement & Plan), D 実施 (Implementation), and C 評価 (Evaluation). It discusses ensuring play environments and the success of revising sports events.